

中播磨地域デザイン案

中播磨地域の特性

中播磨地域の魅力
〈観光・産業〉 <ul style="list-style-type: none"> 兵庫県でただ一つの世界遺産がある。 日本遺産に認定されている「銀の馬車道」がある。 革や地酒等の産業があり、また様々な特産物もある。 〈地理・景観・交通〉 <ul style="list-style-type: none"> 発展している地域と、自然豊かな地域の両方がある。 気候が穏やかで、暮らしやすい。 生産する地域と、消費する地域が近いので、圏内で地産地消がしやすい。 兵庫県の中心に位置しており、県内は比較的行き来ししやすい。 道路網が整っているため、車でどこにでも行くことができる。 〈地域性・文化〉 <ul style="list-style-type: none"> 祭りをはじめ、四季折々にイベントがある。 地元へ愛着のある人が多い。 古いまち並みが残っていたり、地域によっては文化の伝承もあるなど、アナログの価値が残っている。 姫路城や「銀の馬車道」をはじめとする歴史や、臨海部と山間部には工業地帯などがあり、歴史と最先端の技術が融合したまちである。 〈その他〉 <ul style="list-style-type: none"> 兵庫県の縮図と言えるぐらい、多種多様な個性のある地域が集まっている。

中播磨地域の課題
〈観光・産業〉 <ul style="list-style-type: none"> 姫路城の次の観光地が思い浮かばない。 就職の相談窓口や選択肢が少ない。 〈地理・景観・交通〉 <ul style="list-style-type: none"> 自然が豊かな地域に、景観を損なうような建物（倉庫等）が増えつつある。 ゴミが多いところもあり、住民だけでなく、観光客にも注意喚起が必要である。 高齢者や観光客のような車を持っていない人、もしくは運転できない人にとっては交通手段が不便である。 〈地域性・文化〉 <ul style="list-style-type: none"> 学歴を重視しすぎる傾向があるため、個性が伸ばしにくい。 神戸などの都会に憧れる一面があり、地元から出て行く人がいる。 コミュニティが特定の人で固まっているため、外からの人は入りづらい。 災害が少ないという過信があり、防災意識が低い。 〈その他〉 <ul style="list-style-type: none"> 上手く情報発信ができていないため、地元の人でさえ地域の魅力を認識していない。 働くことや住むことに期待ができる環境が少ない。 趣味や才能を持っている人が、あまり活動をしていない。



もう一つの世界遺産、それは人

兵庫県に1つだけしかない世界遺産である姫路城と比べても、負けず劣らずの「人」を地域全体で育て、理想の中播磨の実現に向け、様々な分野で活躍できる「人」をつくりだす。



小さな個性(まち)の集合体

中播磨には、発展している地域や、自然が豊かな地域、また文化や伝統がある地域など、様々な地域がある。同じ地域として一括りにするのではなく、個性豊かなモデルシティが集まった多様な地域が中播磨という認識を持つ。

中播磨地域の目指す将来像

魅力発信	世界が憧れる『自己中』中播磨
	〈趣旨〉 世界に誇れるポテンシャルを秘めた文化や産業が多くあるが、地元の人でさえ、それを知らなかったりする。それらを地域内外に発信するために、それぞれの地域が魅力を全面に押し出して「自己中心的」にアピールすることにより、世界中から注目を集める中播磨をめざす。
	〈主な意見〉 <ul style="list-style-type: none"> 革、地酒、祭り、自然、播磨灘の魚、生姜、姫路城など、世界に発信できるポテンシャルの高い資源が多くある。 「都会」や「田舎」、「新しいまち並み」や「古いまち並み」といった区別をつけることが、それぞれの良いところを生かすことにつながり、またそれら全てを楽しめるという新しい魅力にもなる。 中播磨にはたくさん魅力があるにも関わらず、うまく情報発信できていないので、発信力を強化して国内外にアピールする。
互助・共助	私たちみんなで『すごいステキなお隣さん』になります！！
	〈趣旨〉 人口減少や少子高齢化が進んでも、誰もが安心して暮らせるために、住民同士が助け合える地域づくりをめざす。高齢者など困った人をまわりの人が助けるような環境をつくれれば、みんなが暮らしやすい地域になる。
人づくり	井の中の蛙『個性爆発』中播磨
	〈趣旨〉 都会にばかり憧れるのではなく、地元に残って生きること自信を持てるよう、チャレンジする人を地域全体で応援することで、地元にながら個性を発揮し活躍できる社会をめざす。
多様性	一人一人の好奇心を大切に、シビックプライドを育む『コンパスライフ』中播磨
	〈趣旨〉 社会が大きく変化するなか、ローカルに生きたり、グローバルに生きたり、それぞれが望む多様な生き方を受け入れる中播磨をめざす。
ゆるやか	みんなのふるさと『おかえり』中播磨
	〈趣旨〉 多くの人にとって、中播磨が自分のふるさとのように感じてもらえる地域になれば良い。地域（ふるさと）のことが好きで、安心できる場所と思えないと、「おかえり」という言葉がでてこない。みんなまとめて「おかえり」と迎え入れる心豊かな地域をめざす。

※『コンパスライフ』とは
 コンパスのように、軸足を地域に置きながら、もう片方の足で、大きな円（グローバル）を描いても良いし、小さな円（ローカル）を描いても良いし、自分の好きなように円（生き方）が描けるということ。中播磨地域デザイン会議で生まれた言葉。